

活気あふれる学校を目指して

さいたま市立馬宮中学校
校長 上田 泰正



私は、令和4年4月1日に着任し馬宮中学校3年目の、上田 泰正（うえだ やすまさ）と申します。どうぞよろしく願いいたします。

馬宮中学校は、荒川を境に富士見市、川越市と隣接する緑豊かな田園環境にある、昭和22年（1947）創立の学校で、今年度78年目となります。

「馬宮」の名の由来は、明治22年（1889）の町村制施行に伴い、北足立郡西遊馬村・土屋村・二ツ宮村・飯田新田・植田谷本村新田の一部が合併したことに始まります。この時、西遊馬の「馬」と二ツ宮の「宮」から、「馬宮」という名が生まれました。

荒川の土手からの遠望、徳富蘇峰によって名付けられた「錦乃原」の桜草をはじめとする美しい風景は、多感な生徒たちの心を潤す、すばらしい学習環境です。

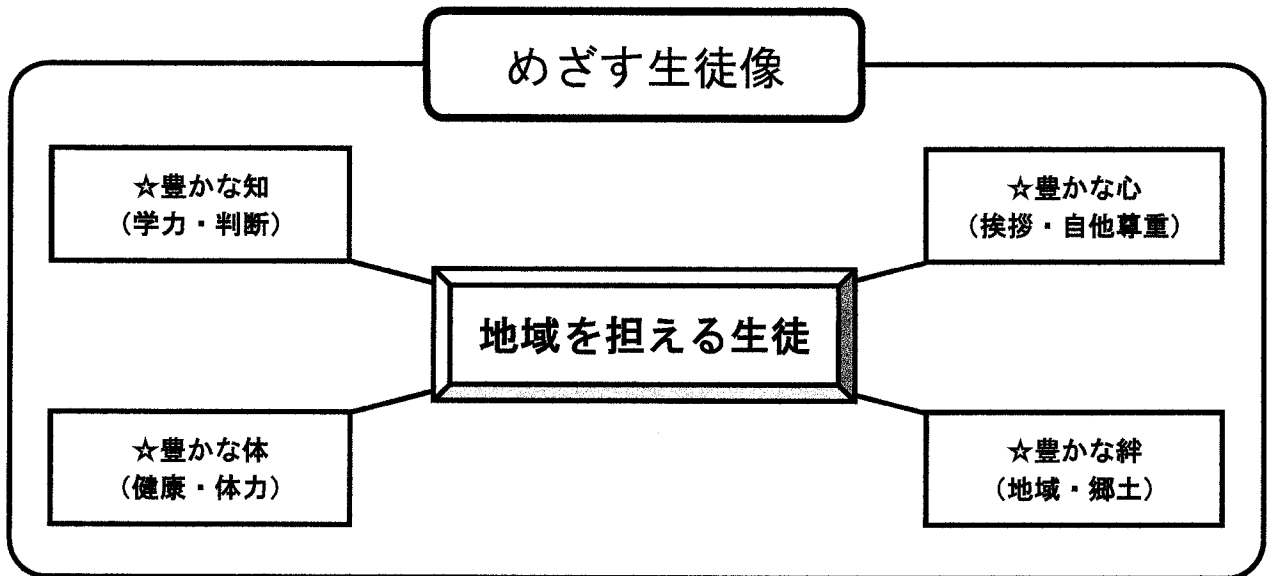
私は、このような素晴らしい学習環境で学ぶ生徒一人ひとりの「個性」を大切に、学校教育目標『未来を拓け～自己の創造・生きる自信～』をはぐくむ教育を推進してまいります。

全生徒にとって、学校が心地よい居場所であり、「子どもたちの歓声が響き、笑顔あふれる学校」を築くことこそが、本校の学校教育目標につながると考えます。

教師の指導力向上のもと、「分かる授業」を行い、生徒の学力向上に努めてまいります。

また、生徒の事を常に考え、生徒・保護者に寄り添い対応していきます。朝元気に「行ってきます」と家を出て、元気に「ただいま」と言えるように、お子様をお預かりいたします。

さらに、「豊かな知」「豊かな心」「豊かな体」「豊かな絆」となる生徒を目指し、地域を担える生徒の育成に努めてまいります。



結びに、馬宮中学校は、地域の方々の厚い御支援をいただき、毎日の学校経営が実施できています。馬宮中学校の教職員は、チームワークのよい教育（知恵の結集）を目指して、今後も教育活動に取り組んでまいります。私は、校長として生徒たちが、精一杯頑張り、気持ちのよい汗が流せるように、学校・家庭・地域の協力体制を強化する学校経営を展開してまいりますので、御支援と御協力をお願いいたします。